

全日本マスターズ&ジュニア パワーリフティング選手権大会報告

2015年5月30-31日、平泉、岩手

報告、写真：IPC 国際審判員：物江毅

5月30-31日岩手・世界遺産の街平泉で、開催された本年度の全日本マスターズ&ジュニアPL大会は、エントリー数こそ66名と少なかったが、選手の頑張りは勿論の事、主管協会岩手及び東北ブロック各県の役員の方々の熱意で、大変に盛り上がった大会となった。熱闘の二日間を報告させていただく。

初日

第1セッション

Aグループ マスターズ女子全員

このグループ主審は吉田寿子国際1級審判、私は副審を勤めさせていただいた。

47kg級

M2のトライアスロンとの二足草鞋を履く滝沢嘉恵選手(パワーハウス)が出場。BP第三試技で70.5kgの日本新記録を樹立し、TL283kgで優勝。まだギア経験が2年に満たない滝沢さんであるが、パワーハウスの新コーチ久保匡平さんの的確なアドバイスを受け、8試技成功と安定感も抜群であった。

52kg級

M1では、磯田あかね選手(スーパーパワーアサマトレーニングクラブ)と柳沢由紀子選手(TXP)の対決となった。SQでは柳沢さんが3本とも取り125kg、対する磯田さんは第一試技のみ115kg、BPに入るとお互い三試技とも成功で、磯田さん80kg、柳沢さん60kg、SubTLで10kg磯田さんがリードした。柳沢さんはDLも三試技とも成功、9試技成功のパーフェクトTL302.5kg。磯田さんは115-125と成功TL320kgで優勝した。

M3には大ベテランの大森聖子選手(ダイドースポーツクラブ)が出場。三種目ともバランスがとれた強さは健在で、SQ137.5kg BP72.5kg DL125kg TL335kgを記録。翌日の岩手日日新聞紙面に聖子さんの試技写真が取り上げられていた。

57kg級

M3にお二人の大ベテラン、木村初子選手(スーパーパワーアサマトレーニングクラブ)と平野豊美選手



(東名アスレチック) が出場。木村さんの DL の強さも健在で、140 と軽めに入り楽々成功、160-170 と成功し TL345kg で優勝。平野さんは SQ の第一試技を落としたが、その後立ち直り BP は 3 試技とも成功、TL247.5kg で 2 位となった。平野さんは翌日世界遺産を観光され、6 月 1 日、帰りの新幹線が私と同じ便であった。

63kg 級

M1 に出場した工藤智恵子選手 (マッスルプロダクション) は、僅か 40 日前に米国コロラド州で開催された世界マスター BP 大会に 72kg 級で出場。見事に 2 位となられた事は、先月号の PWN で報告済であるが、今回 2kg 減量し、63kg 級に挑み、7 試技成功、SQ120kg BP92.5kg DL115kg TL327.5kg で見事に優勝された。仙台まで飛行機で来られ、そこからレンタカーを借り、ご主人の芳正さんと会場入りされ、試合後は翌日世界遺産観光や被災地を巡られ、帰途につかれた。いつも仲の良いお二人、本当に感じが良いご夫妻だ。余談であるがマッスルプロダクション藤田オーナーが、千恵子さんとドーピング検査シャベロンの写真を 5 月の陽光差し込む逆光で撮られたショットが Face book で公開され、今大会のベストショットだと評判になった。

72kg 級

M1 に後藤啓恵選手 (リアルスイング)、M2 に鍋倉由美子選手 (スーパーパワーアサマトレーニングクラブ) が出場。後藤さんは、ジムの先輩である寺村美香さんのサポート、鍋倉さんは息子さんと浅間オーナーのサポートを受けていた。SQ はお二人とも 3 試技とも成功、鍋倉さん 130kg、後藤さん 127.5kg。BP に入ると後藤さんは 57.5-62.5-65 と 3 試技とも成功であったが、鍋倉さんプレスが押し切れず 70-75 と失敗、背水の陣で 76kg の日本記録に挑戦、やや不安定な試技であったが成功。DL は 130kg TL336kg とした。後藤さんは 112.5-120 と成功し TL312.5kg とし、夫々優勝となった。



表彰、晴れやか笑顔、左47kg級優勝、滝沢選手、右、男子74kg級、藤原選手

B グループ 男子 M1 全階級及び M2 59・66kg 級

このグループでは、主審を勤めさせていただいた。

59kg 級

M2 に山口和久選手 (トレーニングジムゼロイン) 一人の出場であった。SQ と DL で各々第一試技のみの成功であったが、BP は 102.5-107.5-110 と三試技とも成功し、TL475kg であった。

66kg 級

M1 藤原信昭選手 (マッスルプロダクション) が出場。SQ の第三試技で 245.5kg の日本新に成功、TL593kg という結果であったが、成功試技が 4 と少なく、藤原さんとしては不満の残る試合であったようだ。それでも表彰式では晴れやかな表情を披露して下さり、私が Face book に掲載した藤原さんの表彰式写真に対して、170 人を超える藤原さんの友人から「いいね」が寄せられた。

M2 高橋雅之選手 (スーパーパワーアサマトレーニングクラブ)、中村英明選手 (パワーハウス)、原吉則選手 (高松トレーニングクラブ) の常連 3 選手が出場。高橋さんは BP165kg がなかなか押せず、第三試技辛くも成功、TL605kg で優勝。中村さんは 7 試技成功で、SQ170kg BP135kg DL172.5kg とバランス良く取り、TL477.5kg で 2 位。Mr. ナローマン原さんは SQ 完了時での足のロック不足、BP での肘の曲がりが見受けられ、成功試技 4 とやや不調で TL405kg で 3 位となった。

74kg 級

M1 オープンの全日本 PL 大会でも常に優勝争いをする実力者・濱田展行選手 (個人) が 7 試技成功 TL765kg の日本新を樹立。昨年の世界マスター PL 大会で、SQ のしゃがみの浅さで失格されたが、この日は 275-290 と確実に取り、第三試技では 300kg の大台に挑む元気さで、BP は 220kgDL255kg であった。2 位は相原竜也選手 (トレーニングジムゼロイン)、

BP の腰の浮きをとられ苦労したが、140kg を第三試技で成功、SQ215kg DL205kgTL560kg という結果であった。

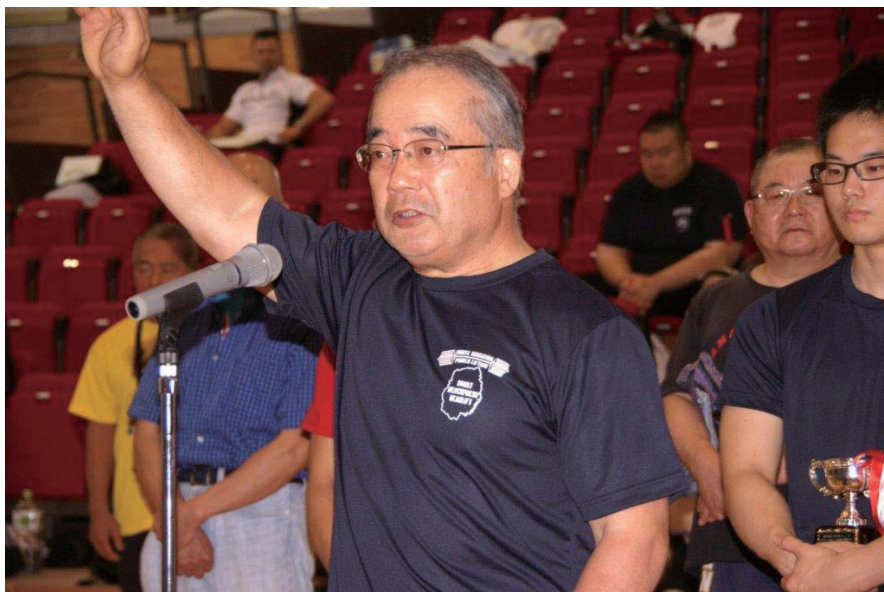
83kg 級

M1 越野貴史選手 (マッスルプロダクション) 一人の出場であったが、残念ながら BP152.5kg を 3 試技とも失敗、記録なしという結果であった。

93kg 級

M1 小川光寿選手 (竹田運輸倉庫) 一人の出場。富山から北陸新幹線&東北新幹線と乗り継いで参戦した小川さんは好調で、SQ240-260 BP185-205-212.5 DL220-230-240 と 8 試技成功、TL712.5kg で優勝した。

力強い、選手宣誓は、地元北野選手



第 2 セッション

C グループ 男子 M2 74・

83・105・120kg 級

74kg 級

常連の谷口晃一選手 (岡山大学陵門会)、寺門浩之選手 (パワーハルクジム) に北海道の中根明宏選手 (個人) の三人がエントリー、夫々ベテランらしい堅実な試技を繰り広げたが DL 得意の谷口さんが 215-225-230 と 3 試技とも成功、TL600 kg で優勝。寺門さんは二日目息子さんの隆太君のセコンドや最終セッションの主審など、大車輪の活躍であったが、初日は選手に専念 S Q 215 BP140

DL215 TL570kg で 2 位となった。中根さんは SQ220 BP145 で SubTL では寺門さんを 10kg リードしていたが DL が第一試技 190kg のみ成功で、TL555kg、3 位となった。

83kg 級

世界クラシック PL 大会団長・選手を兼ねる山口真人選手が出場。すぐに世界大会を控えていることもあり、全種目ノーギアで試技し、SQ220 BP140 DL220 TL580kg の国際大会標準記録超えた。

105kg 級

オープンの全日本 PL 大会に連続出場を続けている浅間茂敏選手 (スーパーパワーアサマトレーニングクラブ) が出場、同世代の強豪・中谷幸市選手 (国士館高校)、今大会大健闘の富山・高岡 TC から参戦した中島諭正選手と三つ巴の戦いとなった。



宏選手が参戦、8 試技成功と安定し TL460kg で優勝。

M4 常連の大城新順選手 (個 BP105 と各々一試技しか取れず、や引き切り TL365kg で優勝。

74kg 級

M3 元気な富山勢の一角・瀧田悟選手 (高岡 TC) が SQ200 BP110 DL190 とバランスがとれた力を発揮、TL で 500kg の大台に乗せ優勝。

M4 大ベテラン大澤充選手 (ノーリミッツ) が工藤ご夫妻のサポートを受け、SQ150 BP105 DL は 150-160-170 と三試技とも成功、TL425kg として優勝。

83kg 級

M3 に選手宣誓を行った「世界の北野」北野利雄選手 (K & B GYM) と對馬宏選手 (スーパーパワーアサマトレーニングクラブ) が出場。北野さんは来年 M4 になられるということであったが、強烈な強さは健在で、SQ210-230-242.5 と三試技とも成功。BP では、第一試技 140kg が軽すぎてプレス後反動で下がり失敗とされたが、第二試技以降丁寧に試技をし 140-155 に成功。DL も 210-230 と成功後、第三試技で日本記録の 246.5 に挑戦、惜し

SQ は浅間さん 280kg、中島さんが 260kg と強く、中谷さんは 215kg。BP 得意の中谷さんは第一試技 225kg を取った後、252.5kg に挑むも惜しくも第二、三試技と失敗。中島さんは 200kg、浅間さんは 192.5kg に成功。DL は中谷さん 220kg TL660kg で 3 位。浅間さんは 240kg で TL712.5kg とした。中島さんは逆転を賭け第三試技で 255kg に挑戦したが、引ききれず TL700kg で 2 位、浅間さんが貫禄を見せ優勝という結果となった。

120kg 級

本年から M2 となった南茂樹選手 (MSM) が遙々岡山から参戦。奥さんの恵美さんのサポートを受け、SQ290 BP215 DL220kg TL725kg で優勝した。

D グループ 男子 M3・4 全クラス

59kg 級

M3 富山・高岡 TC から谷内政

ており、SQ150 BP105 DL205

人) が千葉県から出場。SQ120

や安定感に欠けたが、DL は 150 を



力強いデッドリフトを見せる女子ジュニア勢

くも失敗、TL627.5kgとして断トツ優勝した。對馬さんはSQ165 BP142.5 DL160 TL467.5kgで2位となった。

M4でもお二人の大ベテラン、安居民雄選手(西部組)、木下哲也選手(パワーハウス)が出場。SQでは木下さん145、安居さん140と拮抗していたが、BP得意の安居さんが115、木下さん80と差がつき、DLは安居さん130-140-145と三試技とも成功、TL400kgとした。対する木下さん130-150と成功後、体重差逆転を賭け第三試技背175に挑んだが引ききれずTL475kgで2位という決着であった。

このグループで3名の富山勢のセコンドに岩崎量也さんがついていたが、孫世代の岩崎さんが、お三方に的確なアドバイスかつ叱咤激励をおくり、とても良いセコンドという印象であった。

二日目

第3セッション

このグループ及びFグループで私は陪審員を勤めさせていただいた。

Eグループ 女子JR全員

47kg級

実力拮抗の根本梢選手(個人)、早川琴果選手(阪南大WT部)、入船美月選手(岡山大学WT部)が出場、DL最後の試技で順位が決まる大接戦を展開した。SQでは入船さんが日本新を連発し140でリード、根本さん、早川さんは117.5。BPでは早川さんが80-85と日本記録を連発、根本さん70、入船さん60で、SubTLで、早川さん202.5入船さん200根本さん187.5という順位となった。DLで入船さんは115-120と成功後125には失敗、TL320kgで試技を終えた。早川さんは第一試技120に成功、TLを322.5kgとした後、第二、三試技で125kgに挑むも引ききれず試技終了。DL得意の根本さんは127.5-135と成功、第二試技終了時点で322.5kgとした。体重は早川さんのほうが軽い。早川さんが125に失敗したのを見て、根本さん第三試技137.5kgに挑み、やや膝が前に出たフォームであったが、同重量を引き切り、判定は白3、TL325kgで見事に逆転優勝。JR最後の年に有終の美を飾った。

52kg級

南采沙選手(京都学園大学WL部)と、藤浪瑠麗選手(パワーハウス)が対決。SQでは、南さん125、藤浪さん120と拮抗していたが、BP得意の南さんが92.5に成功しSubTL217.5、藤浪さんは60でSubTL180となり、ほぼ勝負有り。DLはお互いに三試技ともとり、南さん112.5、TL330で優勝。藤浪さん130、TL310kgで2位という結果となった。

57kg級

西原まどか選手(阪南大WT部)、佐竹優佳選手(東洋大)、堤彩夏選手(京都学園大学WL部)の三名が出場。SQでは西原さんが強く160で二人をリード、堤さん135、佐竹さん125。BPに入ると堤さんは腰の付きが不安定で、残念ながら60に3試技とも失敗、失格となった。西原さんは65(SubTL225)、佐竹さんは三試技とも成功で75(SubTL200)とした。DLでは西原さんが×120-125-130、TL355kgで終了。佐竹さんは130-×140の後、第三試技で逆転を賭け155に挑むも引ききれずTL330kgで終了。優勝西原さん、2位佐竹さんという結果となった。



二本目で失敗のデッドを三本目、渾身の力を込めて引ききる寺原選手



三種目ともにバランスのとれた力を見せる堀口選手

63kg

本年3月和歌山のジャパンクラシック PL 大会で、日本女子 PL 界最強の北村真由美さんに果敢に挑んだ寺原万留々選手(京都学園大学 WL 部)が登場。SQ は 185 の日本新に成功後、第三試技で 195 に挑んだが惜しくも立てず(練習でも成功したことがないとの事であった)失敗。BP では 105 に成功後、練習では挙げている 115 に挑むも第二、三試技と失敗。DL は 160 に成功後、第二試技 170 は途中でバーが僅かに下り失敗、第三試技で同重量を頑張って引き切り、TL460kg の日本記録を樹立した。試合後、Face book に祝福の書き込みを行ったが、「もっと強くなります」という力強い返答が返ってきた!

72kg 級

仲野衣美選手(阪南大 WT 部)1 名の出場。やや成功試技が少なく、SQ130 BP90 DL145 TL365kg という結果であった。

今大会のジュニア女子選手は、とても澁刺とした試技を披露して下さった。ビジュアル的にもどんなメジャー競技と比較しても遜色ない選手達という好印象であった。

F グループ 男子 JR53・59・66・74kg 級

53kg 級

新井一真選手(東京農大 BB・PL 部)と森脇滉人選手(岡山大学 WT 部)が出場、SubTL 時点で森脇さん 310、荒井さん 290 であったが、森脇さんが DL190 を参加いとも引けずに失格、新井さんは 92.5kg を引き TL482.5kg で優勝という結果となった。



59kg 級

昨年驚異の SubTL の一人として旋風を巻き起こした佐竹優典選手 (青山学院大) と大学 4 年生となった寺門隆太選手 (羽衣国際大) が出場。佐竹選手はとて JR とは思えない安定した試技を連発し、前試技成功。SQ245(日本新) BP155 DL230 TL630kg(日本新) で優勝。

この記録は昨年富山での全日本 PL 大会の優勝記録を超えており、6 月末の小田原で十分に優勝を狙える。試合後、後述の堀口君と一緒にいたので、「二人とも一般の全日本 PL 大会で優勝を目指せ！」とハッパをかけたところ、両名とも「やります！！」力強く応えてくれた。寺門君は残念ながら BP で 130-132.5-132.5 と挑んだが押切れず失格となった。

66kg

このクラスは 4 名の出場。上述の佐竹君の同級生、木内陽介選手 (青山学院大) が強いと思われたが、鈴木豪選手 (ESQUATIR) が健闘し、SQ で木内君 260、鈴木君 255 と拮抗。BP は鈴木くんが強く 175、木内君は 155 止まりで、SubTL で 15kg の差がついた。DL は木内くんの得意種目なので逆転可能と思われたが、お互いに第一試技は 245 に成功、第二試技鈴木君 255、木内君 261(日本新) で 6kg 差が詰まったが、第三試技で鈴木選手 262.5(日本新) に成功し、TL692.5kg で試技を終えた。木内君は逆転を賭け 278.5 に挑むも引ききれず TL676kg で終了。優勝鈴木選手、2 位木内選手という順位となった。3 位は杉浦康宏選手 (力こぶ) が SQ250 BP140 DL235 TL625kg。4 位は藤村勇太選手 (岡山大学 WT 部) が、SQ230 BP150 DL210 TL590kg で入った。

74kg 級

鈴木喜稀選手 (東海大) と逢野崇大選手 (阪南大 WT 部) の対決となった。三種ともバランスが取れている鈴木君と、BP が強い印象の逢野君であったが、SQ は 280 で同記録、BP に入ると鈴木君が 177.5 と頑張り、逢野君は 195kg 止まり、SubTL 逢野君 475、鈴木君 457.5 となった。体重は鈴木くんの方が軽い。DL 第二試技で逢野君 227.5 を引き、TL702.5 とした。鈴木君が 255 に成功し TL712.5 としたのを見た逢野君は、逆転を狙い第三試技で 240 に挑んだが引ききれず失敗。優勝鈴木選手、2 位逢野選手という順位となった。3 位は前川知紀選手 (京都学園大学 WL 部) で SQ250 BP165 DL225 TL640kg という結果であった。

G グループ 男子 JR83・105・120kg 級

83kg 級

5 名が出場。直近の世界 BP 大会 JR74kg 級で 3 位に入賞した村野知永選手、吉田大亮選手、山下大樹選手の阪南大 WT 部の 3 名と、東大 OB の千葉浩樹選手、DL が強い京都学園大学 WL 部の古川潤選手というメンバーであった。村野君は世界大会の疲れが抜け切れず、SQ200 BP200 DL150 TL550kg で 5 位、山下選手は SQ260 BP147.5



世界遺産の町、平泉、家も、学校も、景観条例が徹底しているという。

DL220 TL627.5kg で 4 位。SubTL で 445 とトップに立った吉田選手、435 の千葉選手、420 の古川選手の三つ巴の優勝争いとなった。

DL は吉田くんが 210-220 に成功、第二試技終了時点 TL665kg とした。千葉君は 230-240 と成功、TL675 に伸ばした。この時点で自己ベストを 50kg もオーバーしている。古川君は 250-270 と成功、TL690 とした。第三試技 245 に挑み体重差逆転を狙った吉田選手が引ききれず TL665kg 3 位が確定。千葉選手は果敢に 257.5 に挑むが、こちらも引ききれず 675kg で終了、2 位となった。日本新となる

280.5 に挑んだ古川選手も失敗で、690kg で終了、優勝を飾った。

105kg 級

3月のジャパンクラシック PL 大会 93kg 級で、最後に DL260kg を引き切り見事優勝を飾った堀口耀介選手(青山学院大)と DL の強い佐野誓建選手(京都学園大学 WL 部)がエントリー。

SQ は佐野選手が 280-292.5-297.5 と三試技とも成功。対する堀口選手台地試技で 305 を軽く立つが、第二試技 325 ではコートに立たず(試合後事情を聞いたところ足と腰がつっていたとの事であった)、第三試技で同重量成功(日本新)。BP でも佐野君は 162.5-175-185 に成功、SubTL を 482.5 とした。対する堀口君も 250-270(日本新)-280(日本新)と成功し、SubTL605kg に伸ばした。DL に入ると第一試技で堀口君 250 申請も足の痛みで試技をせず、第二試技で同重量成功、TL855kg とほぼ優勝確定、これに対して佐野君は 275-291(日本新)に成功し、TL773.5 とした後、第三試技で更なる DL に記録更新を狙い、295 に挑むも失敗。大トリで登場した堀口選手、何と 295.5 を申請、成功すれば TL900.5kg と成り、日本人 4 人目の 900kg 声となる。場内全員が固唾を飲んで見守る中、堀口君は同重量を引き切り、やや膝のロックが甘く、主審の寺門さんが赤を点けたが、副審二人が白で成功、会場の盛り上がりは極致に達した。和歌山の逆転 DL の再現のような試技であった。

上述した佐竹君と全日本 PL 大会に挑む堀口君、93kg 級に出場予定で、荒川孝行チャンプや久保匡平選手、風張透選手との対決が今から楽しみである。堀口くんは練習では SQ340kg に成功しているとの事、BP もギア使いが上手で、300kg も近い将来可能と思われた。本人には「阿久津さんの TL を超えた事は本当に凄いね！次は TL 1 t を目指して頑張れ！！」と激励したところ「頑張ります！！！」という応えが返ってきた。

120kg 級

南場航太郎選手(東京農大 BB・PL 部)と横山恭平選手(阪南大 WT 部)の対決となった。

SQ は南場選手 305、横山選手 300 と拮抗、BP 横山君が 215、南場君が 190、SubTL で 20kg 横山選手がリードした。DL は二人とも 250 で差は詰まらず、優勝横山選手 765kg、2 位南場選手 740kg という結果となった。

世界遺産の街・平泉は五月の陽光を浴びた毛越寺の門・参道の佇まいなど、本当に美しく、来年 9 月の岩手国体の際には、余裕を持って当地を訪れ、散策したいと思いついた。私は一昨年 4 月にプラハ、昨年の 4 月にロンドン、12 月にメルボルンの世界遺産を訪れたが、平泉は景観が柔らかく、西洋の世界遺産とは趣が異なり、日本独特の「わび・さび」が感じられ、何度でも訪れたいという気持ちにさせてくれた。

今大会の開会式でご挨拶された平泉町長・青木幸保氏は、来年の岩手国体開催に際して、今後の一層のご協力を約束して下さった。また、閉会式でジュニア選手を前に挨拶された本大会名誉副会長・岩崎実岩手県パワーリフティング協会最高顧問は「私は今 75 歳です。(ジュニアの)皆さんはあと 50 年パワーが出来ます！！」という素晴らしい激励をされた。

最初にも触れたが、今大会は初日がベテラン勢の頑張り、二日目ジュニアの澁刺とした試技で大変に盛り上がった。6 月末の神奈川県・小田原アリーナでの全日本 PL 大会でも、同様な盛り上がりとなっていたきたい！！



岩手国体のシンボルと寺村さんのツーショット(写真編集部)

第34回全日本マスターズパワーリフティング選手権大会記録表
 F大会 2015年5月30日(土)・会場 平泉町立平泉小学校体育館



No	階級	氏名	年齢	所属	体重	S:スクワット				B:ベンチプレス				D:デットリフト				スクワット	ベンチプレス	デットリフト	トータル	順位	フォーミュラ記録
						I	II	III	特試	I	II	III	特試	I	II	III	特試						
女子マスターズⅠ																							
1	52kg級	磯田あかね	44	アサマトレーニングクラブ	50.80	115.0	×120			70.0	75.0	80.0		115.0	125.0	×130		115.0	80.0	125.0	320.0	1	406.14
2		柳沢由紀子	48	TPX	51.95	115.0	120.0	125.0		50.0	55.0	60.0		105.0	115.0	117.5		125.0	60.0	117.5	302.5	2	377.67
3	63kg級	工藤智恵子	48	マッスルプロダクション	61.95	115.0	120.0	×125		82.5	×90	92.5		105.0	110.0	115.0		120.0	92.5	115.0	327.5	1	356.45
4	72kg級	後藤啓恵	49	リアルスイング	67.30	115.0	122.5	127.5		57.5	62.5	65.0		112.5	120.0	×122.5		127.5	65.0	120.0	312.5	1	319.63
女子マスターズⅡ																							
5	47kg級	滝沢嘉恵	58	パワーハウス	45.25	95.0	100.0	105.0		62.5	67.5	70.5		102.5	107.5	×112.5		105.0	70.5	107.5	283.0	1	391.25
6	72kg級	鍋倉由美子	53	アサマトレーニングクラブ	66.65	115.0	125.0	130.0		×70	×75	76.0		120.0	130.0	×143		130.0	76.0	130.0	336.0	1	346.28
女子マスターズⅢ																							
7	52kg級	大森聖子	64	ダイーススポーツクラブ	51.30	130.0	137.5	×145		×70	70.0	72.5		120.0	125.0	×130		137.5	72.5	125.0	335.0	1	422.00
8	57kg級	木村初子	64	アサマトレーニングクラブ	53.65	120.0	135.0	×150		40.0	×55	×55		140.0	160.0	170.0		135.0	40.0	170.0	345.0	1	420.07
9		平野豊美	65	東名アスレチック	55.60	×95	95.0	×100		42.5	45.0	50.0		95.0	102.5	×110		95.0	50.0	102.5	247.5	2	292.84
男子マスターズⅠ																							
10	66kg級	藤原信昭	46	マッスルプロダクション	65.60	×230	230.0	245.5		×147.5	147.5	×160		200.0	×235	×235		245.5	147.5	200.0	593.0	1	467.94
11	74kg級	濱田展行	46	個人	73.40	275.0	290.0	×300		210.0	220.0	×225		235.0	250.0	255.0		290.0	220.0	255.0	765.0	1	553.48
12		相原竜也	45	トレーニングジムゼロイン	73.75	205.0	215.0	×225		×140	×140	140.0		205.0	×215	×215		215.0	140.0	205.0	560.0	2	403.98
13	83kg級	越野貴史	41	マッスルプロダクション	80.75	232.5	×242.5	×245		×152.5	×152.5	×152.5		210.0	×220	×220		232.5		210.0			
14	93kg級	小川光寿	44	竹田運輸倉庫株式会社	92.40	245.0	260.0	×267.5		185.0	205.0	212.5		220.0	230.0	240.0		260.0	212.5	240.0	712.5	1	448.95
男子マスターズⅡ																							
15	59kg級	山口和久	55	トレーニングジムゼロイン	57.45	165.0	×175	×175		102.5	107.5	110.0		200.0	×215	×215		165.0	110.0	200.0	475.0	1	422.23
16	66kg級	原 吉則	57	高松トレーニングクラブ	63.10	150.0	×155	×155		80.0	85.0	×90		170.0	×180	×180		150.0	85.0	170.0	405.0	3	330.28
17		中村英明	55	パワーハウス	65.75	160.0	170.0	×175		130.0	135.0	×140		160.0	167.5	172.5		170.0	135.0	172.5	477.5	2	376.32
18		高橋雅之	55	アサマトレーニングクラブ	66.00	225.0	235.0	×243		×165	×165	165.0		195.0	205.0	×210		235.0	165.0	205.0	605.0	1	475.05
19	74kg級	寺門浩之	55	パワーハルクジム	69.80	205.0	215.0	×220		130.0	140.0	×145		195.0	215.0	×220		215.0	140.0	215.0	570.0	2	428.07
20		谷口晃一	55	岡山大学陸門会	73.30	207.5	215.0	×222.5		140.0	150.0	155.0		215.0	225.0	230.0		215.0	155.0	230.0	600.0	1	434.52
21		中根明宏	59	個人	73.20	210.0	220.0	×230		130.0	140.0	145.0		190.0	×200	×200		220.0	145.0	190.0	555.0	3	402.32
22	83kg級	山口真人	52	パワーハウス	82.70	220.0				130.0	140.0			220.0				220.0	140.0	220.0	580.0	1	387.96
23	105kg級	中島諭正	52	高岡トレーニングクラブ	100.80	240.0	250.0	260.0		180.0	190.0	200.0		220.0	240.0	×255		260.0	200.0	240.0	700.0	2	424.69
24		浅間成敏	56	アサマトレーニングクラブ	93.35	255.0	270.0	280.0		187.5	192.5	×197.5		225.0	240.0			280.0	192.5	240.0	712.5	1	446.88
25		中谷幸市	55	国土館高等学校	104.10	200.0	215.0	×225		225.0	×252.5	×252.5		210.0	×220	220.0		215.0	225.0	220.0	660.0	3	395.60
26	120kg級	南 茂樹	50	MSM	115.65	280.0	290.0			200.0	210.0	215.0		200.0	220.0			290.0	215.0	220.0	725.0	1	420.72
男子マスターズⅢ																							
27	59kg級	谷内政宏	66	高岡トレーニングクラブ	58.65	140.0	×150	150.0		90.0	100.0	105.0		180.0	200.0	205.0		150.0	105.0	205.0	460.0	1	400.98
28	74kg級	瀧田 悟	68	高岡トレーニングクラブ	73.45	200.0	×205	×205		105.0	110.0	×115		190.0	×200			200.0	110.0	190.0	500.0	1	361.75
29	83kg級	對馬 宏	63	アサマトレーニングクラブ	80.45	×155	155.0	165.0		137.5	142.5	×145		×160	160.0	×170		165.0	142.5	160.0	467.5	2	318.18
30		北野利雄	68	K&B GYM	82.65	210.0	230.0	242.5		×140	140.0	155.0		210.0	230.0	×246.5		242.5	155.0	230.0	627.5	1	420.05
男子マスターズⅣ																							
31	59kg級	大城新順	72	個人	55.95	×120	120.0	×140		105.0	×115	×115		130.0	140.0	×150		120.0	105.0	140.0	365.0	1	332.84
32	74kg級	大澤 充	74	No Limits	71.15	×150	150.0	×170		105.0	×110	×110		150.0	160.0	170.0		150.0	105.0	170.0	425.0	1	314.76
33	83kg級	木下哲哉	73	パワーハウス	74.65	×130	130.0	145.0		70.0	80.0	×90		130.0	150.0	×175		145.0	80.0	150.0	375.0	2	268.20
34		安居民雄	73	西郷組	75.70	130.0	×140	140.0		105.0	110.5	115.0		130.0	140.0	145.0		140.0	115.0	145.0	400.0	1	283.20

第33回全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会記録表
 F大会 2015年5月31日(日)・会場 平泉町立平泉小学校体育館



No	階級	氏名	年齢	所属	体重	S:スクワット				B:ベンチプレス				D:デットリフト				スクワット	ベンチプレス	デットリフト	トータル	順位	フォーミュラ記録
						I	II	III	特試	I	II	III	特試	I	II	III	特試						
女子																							
1	43kg級	佐藤安奈																					
2	47kg級	根本 栞	23	個人	46.95	112.5	×117.5	117.5		65.0	70.0	×72.5		127.5	135.0	137.5		117.5	70.0	137.5	325.0	1	437.78
3		入船美月	21	岡山大学ウエイトレーニング部	47.00	125.0	135.0	140.0		×60	60.0	×62.5		115.0	120.0	×125		140.0	60.0	120.0	320.0	3	430.37
4		早川琴果	20	阪南大学ウエイトレーニング部	46.20	110.0	117.5	×122.5		80.0	85.0	×87.5		120.0	×125	×125		117.5	85.0	120.0	322.5	2	439.08
5	52kg級	藤浪瑠羅	21	パワーハウス	50.95	115.0	×120	120.0		55.0	60.0	×65		115.0	122.5	130.0		120.0	60.0	130.0	310.0	2	392.86
6		南 采沙	22	京都学園大学パワーリフティング部	51.00	117.5	122.5	125.0		×85	85.0	92.5		105.0	110.0	×112.5		125.0	92.5	110.0	327.5	1	414.42
7	57kg級	西原まどか	22	阪南大学ウエイトレーニング部	52.30	140.0	150.0	160.0		×60	60.0	65.0		×120	125.0	130.0		160.0	65.0	130.0	355.0	1	440.59
8		堤 彩夏	20	京都学園大学パワーリフティング部	56.35	×135	135.0	×145		×60	×60	×60		140.0	×145	×145		135.0		140.0			
9		佐竹優佳	21	東洋大学	52.20	117.5	×125	125.0		65.0	70.0	75.0		130.0	×140	×155		125.0	75.0	130.0	330.0	2	410.16
10	63kg級	寺原万留々	22	京都学園大学パワーリフティング部	62.45	170.0	185.0	×195		105.0	×115	×115		160.0	×170	170.0		185.0	105.0	170.0	460.0	1	497.63
11	72kg級	窓場加津紗	19	京都学園大学パワーリフティング部																			
12		仲野衣美	22	阪南大学ウエイトレーニング部	64.45	130.0	×140	×140		×90	90.0	×105		130.0	145.0	×167.5		130.0	90.0	145.0	365.0	1	385.59
男子																							
13	53kg級	森脇滉人	20	岡山大学ウエイトレーニング部	52.50	190.0	200.0	205.0		105.0	×110	×110		×190	×190	×190		205.0	105.0				
14		新井一真	19	東京農業大学葛城支部デビルパワーリフティング部	52.40	155.0	170.0	180.0		105.0	×110	110.0		177.5	192.5	×210		180.0	110.0	192.5	482.5	1	469.70
15	59kg級	寺門隆太	22	羽衣国際大学	58.70	170.0	180.0	×190		×130	×132.5	×132.5						180.0					
16		佐竹優典	19	青山学院大学	58.95	225.0	235.0	245.0		135.0	145.0	155.0		210.0	220.0	230.0		245.0	155.0	230.0	630.0	1	546.12
17	66kg級	鈴木 豪	21	ESQUATIR	65.20	240.0	247.5	255.0		170.0	×175	175.0		245.0	255.0	262.5		255.0	175.0	262.5	692.5	1	549.29
18		藤村勇太	21	岡山大学ウエイトレーニング部	65.50	210.0	220.0	230.0		140.0	145.0	150.0		210.0	×220	×220		230.0	150.0	210.0	590.0	4	466.16
19		木内陽介	19	青山学院大学	65.90	245.0	255.0	260.0		145.0	155.0	×165		245.0	261.0	×278.5		260.0	155.0	261.0	676.0	2	531.47
20		杉浦康宏	21	ちからこぶ	65.60	170.0	250.0			140.0	×150	×150		×210	220.0	235.0		250.0	140.0	235.0	625.0	3	493.19
21	74kg級	前川知紀	21	京都学園大学パワーリフティング部	73.55	235.0	250.0	×260		150.0	×160	165.0		210.0	225.0	×230		250.0	165.0	225.0	640.0	3	462.59
22		逢野崇大	21	阪南大学ウエイトレーニング部	74.00	265.0	280.0	×295		185.0	195.0	×203		215.0	227.5	×240		280.0	195.0	227.5	702.5	2	505.31
23		鈴木喜稀	22	東海大学	73.85	265.0	280.0	×300		165.0	172.5	177.5		245.0	255.0	×270		280.0	177.5	255.0	712.5	1	513.50
24	83kg級	吉田大亮	20	阪南大学ウエイトレーニング部	79.95	×250	250.0	260.0		×180	185.0	×195		210.0	220.0	×245		260.0	185.0	220.0	665.0	3	454.33
25		山下大樹	22	阪南大学ウエイトレーニング部	82.30	260.0	×272.5	×272.5		135.0	147.5	×150		210.0	220.0	×232.5		260.0	147.5	220.0	627.5	4	420.99
26		村野知永	21	阪南大学ウエイトレーニング部	76.45	200.0	×220			200.0	×210	×210		150.0				200.0	200.0	150.0	550.0	5	386.98
27		千葉浩樹	23	個人	82.10	250.0	×260	260.0		160.0	170.0	175.0		230.0	240.0	×257.5		260.0	175.0	240.0	675.0	2	453.53
28		古川 潤	19	京都学園大学パワーリフティング部	81.25	250.0	270.0	×280		125.0	140.0	150.0		250.0	270.0	×280.5		270.0	150.0	270.0	690.0	1	466.72
29	105kg級	佐野登建	20	京都学園大学パワーリフティング部	104.90	280.0	292.5	297.5		162.5	175.0	185.0		275.0	291.0	×295		297.5	185.0	291.0	773.5	2	462.40
30		堀口龍介	22	青山学院大学	96.90	305.0	×325	325.0		250.0	270.0	280.0		×250	250.0	295.5		325.0	280.0	295.5	900.5	1	555.25
31	120kg級	南場航太郎	20	東京農業大学葛城支部デビルパワーリフティング部	106.45	275.0	290.0	305.0		175.0	182.5	190.0		215.0	230.0	250.0		305.0	190.0	250.0	745.0	2	443.13
32		横山恭平	21	阪南大学ウエイトレーニング部	112.60	300.0	×307.5	×307.5		200.0	210.0	215.0		240.0	250.0	×260		300.0	215.0	250.0	765.0	1	447.07

◎ジュニア女子日本記録 ☆サブジュニア男子日本記録 ●大会記録

以上報告致します。H 27 年 6 月 3 日

岩手県パワーリフティング協会 理事長 伊藤英伸